

| 課題区分 | No. | 支援策 | 得票数 |
|------------|-----|---|-----|
| 1. 方向性について | 1 | 自治会を含めた人材育成講座を開設する。 | 8 |
| | 2 | 行政は若い人材が育つ場づくりを一緒に考え、支援してほしい。 | 8 |
| | 3 | 事務局長の人材育成（研修会の開催→コミ協のレベルの平準化）。 | 8 |
| | 4 | 自治会長・町内会長の研修会を実施する（コミ協の立ち位置を教えるため）（部局の指導をきちんとしていくため）。 | 8 |
| | 5 | 自治会長さん対象の研修を行い、理解をうながす。 | 8 |
| | 6 | 地域の特色を尊重してほしい。 | 2 |
| | 7 | コミ協に権限を持たせるため、各種団体への補助金をコミ協に統合する。 | 2 |
| | 8 | 話し合いの「場」をもっとつくってほしい（ワークショップ！、コミ協単位、地域単位で）。 | 2 |
| | 9 | 専門性のある人材を継続的に確保し、学校などと連携する。 | 1 |
| | 10 | コミ協の地域や学校に対する支援活動内容を棚卸しをし、明確にする（メニューで提供／交渉材料に）。 | 1 |
| | 11 | コミ協の取り組む地域課題の優先順位を集約して方向性を示してほしい。高齢化福祉？子育て？ | |
| | 12 | 「自力」をつけるための支援策を行う（支援を受けながら実績を積み自立する）。 | |
| | 13 | コミ協の認知を上げるため、文章ではなく写真や図でわかりやすいパンフレットをつくる 区単位の方が良い。 | |
| | 14 | 市からコミ協に関する情報をもっと出す。 | |
| | 15 | コミ協運営費や費用弁償の流れを明らかにして、住民への理解度をあげる。 | |
| | 16 | みんなが地域に目を向ける地元学／ちいき学の再事業化。 | |
| | 17 | コミ協の法人化（組織としての明確化／リスクマネジメント）。 | |

ワークショップでの支援策の出し方

- ・グループワークで出された支援策の中で、優先順位の高いものを選び、参加者231名が投票する(1人2票)。
- ・得票数は、類似した意見に重複があるため、参加者の票数より多い。

| 課題区分 | No. | 支援策 | 得票数 |
|-----------|--------------------|---|-----|
| 2. 役割について | 18 | コミ協の位置づけを明確にするため、条例を新たに制定する。 | 28 |
| | 19 | 条例化しても自治がそこなわれないということを条件にコミ協を位置づける。 | 28 |
| | 20 | 行政は新潟市自治基本条例でのコミ協の位置づけをより明確にしてほしい。 | 28 |
| | 21 | コミ協の目的を明確にして市条例を整備する（コミ協への助成金を拠出する。事務委託料の固定化）。 | 28 |
| | 22 | 条例の制定をする（コミ協の予算化（人件費、事業費なども盛り込む））。 | 28 |
| | 23 | コミ協の定義や位置づけを明確にする（条例で定めるなど）。 | 28 |
| | 24 | 条例などでコミ協の位置づけ・責任・権限を明確にする。 | 16 |
| | 25 | 補助金を自由に使えるようにする。 | 13 |
| | 26 | 資金面での助成：交付金制度にする。 | 9 |
| | 27 | コミ協と行政の役割分担を明確化して欲しい（コミュニティ協議会は行政の下請けではない）。 | 8 |
| | 28 | コミ協のあり方に関して条例をつくる（地区、コミ協の独自性を認める）。 | 8 |
| | 29 | 自治基本条例などにきちんとコミ協の位置づけ・運営などを定めるとともに、コミ協を広く周知すべき。 | 7 |
| | 30 | そもそもコミ協の位置づけの明確化（コストも計算する）。 | 7 |
| | 31 | コミ協の必要性を明確にして住民に情報提示を。 | 4 |
| | 32 | 助成金の原資額の明確化と公平な分配をする。 | 4 |
| | 33 | コミ協にとって使いやすく、活動を後押しする助成金にして額や判断など、区に裁量権をもたせる。 | 4 |
| | 34 | コミ協の役割・位置づけを明確にする。 | 3 |
| | 35 | 協議会の位置づけと活動を強力に広報する。 | 3 |
| | 36 | コミ協の位置づけを明文化する。 | 3 |
| | 37 | コミ協へ権限を与える（自治会よりも上位）。 | 2 |
| | 38 | 「何でもコミ協に投げればいい」という行政のコミ協に対する考えを改めてほしい。 | 2 |
| | 39 | コミ協・自治協・行政のつながりをはっきりさせる。 | 1 |
| | 40 | コミ協の位置づけを明確にし、権限もお金（運営費）も与える。 | 1 |
| | 41 | コミ協の役割の周知。楽しく長続きさせるためにも。 | |
| | 42 | 実情を把握して各種団体を整理する。 | |
| | 43 | 市職員のコミ協への理解を深めるための研修会を実施する。 | |
| | 44 | 市はコミ協に何かをお願いする時は、事前に内容を相談する。 | |
| | 45 | 年に1回程度で良いので、コミ協の活動、体験発表会を主催してほしい。 | |
| | 46 | 何でも言うてくるのではなく、行政の方で整理してから要請してほしい。 | |
| | 47 | 人材育成講座の開設。 | |
| | 48 | 自治会とコミ協の役割を明確に示し、コミ協PRパンフレットを作ってほしい。 | |
| | 49 | 町内会長会を廃止して、コミ協に一本化、情報やお金の流れを整理する。 | |
| 50 | コミ協の分け方（小学校区）を考える。 | | |

| 課題区分 | No. | 支援策 | 得票数 |
|-----------|-----|---|-----|
| 2. 役割について | 51 | コミ協と自治協との関係位置づけをPRして欲しい。 | |
| | 52 | 行政はコミ協を核として他団体を整理してほしい（防火連、住み協・・・など）（自治会、自治連を阻害しない）。 | |
| | 53 | 地域の問題解決に当てられる、自由・裁量・資金を持たせてほしい（ガイドラインが必要）。 | |
| | 54 | コミ協と自治協の役割分担を明確にする。 | |
| | 55 | 各種団体のコミ協への加盟（各種団体とコミ協の整合性を図る）。 | |
| | 56 | 今までの縦系統（育成協、交通安全、防火連、防災連など）を活かした仕組みづくり（コミ協の会長にどうつなげていくか）。 | |
| | 57 | 自治連とコミ協が仲良くできるように整理する（話し合いの場を設ける）。 | |

| 課題区分 | No. | 支援策 | 得票数 |
|------------------|---------------------------|--|-----|
| 3. 外部との協働・協力について | 58 | 制度設計を行う段階での会議にコミ協代表者が意見を反映させる場を入れる仕組み作りをしてほしい。 | 10 |
| | 59 | 行政はコミ協担当をきちんと決め、一人4つのコミ協を担当するように窓口を一本化する。 | 5 |
| | 60 | 困り事が出た時に市職員を派遣する。 | 5 |
| | 61 | コミ協と行政が協働して事業を企画、実施する。 | 4 |
| | 62 | 行政職員は地域現場へ参加する。 | 3 |
| | 63 | 諸団体との連携、調整を図るために行政の窓口の一本化を進める。 | 3 |
| | 64 | 行政の縦割りの見直し（行政内の横通しの強化、相談窓口の一本化）。 | 3 |
| | 65 | コミ協の支援ならば市長に声を届けてほしい。 | 3 |
| | 66 | 市はコミ協にきちんと説明する場を設けて説明すること。 | 2 |
| | 67 | 市はコミ協の防災などに対する提案に応えること。 | 2 |
| | 68 | 基本計画（年間の活動計画）の情報をコミ協と共有化する。 | 2 |
| | 69 | 地域専属の行政職員を置く。 | 2 |
| | 70 | 市は6大学連携研究事業で出された提言に対して取り組むべき。 | 1 |
| | 71 | 行政職員は退職1年前から参加してもらう。 | 1 |
| | 72 | コミ協の支援ならばいろいろ押し付けず、行政が本来やるべきことはしっかりやってほしい。 | 1 |
| | 73 | （市）職員、学校の先生も意識改革をする（身近な行政&コミュニティの具現化）。 | 1 |
| | 74 | 自治振興会とコミ協のリンク強化。混乱を減らし、資金を有効に使う。 | |
| | 75 | 市はこれまでのコミ協を検証し、役員、住民に説明すること。 | |
| | 76 | 市民協働課は、現場に足を運び、実状を理解する。 | |
| | 77 | 自力のない自治会、町内会の支援を目的とした市の施策を用意すべき。 | |
| | 78 | コミ協と行政の協働事業をやりましょう（勉強会など）。 | |
| | 79 | 行政職員は退職後にコミ協で働くことをあっせんする。 | |
| | 80 | 新潟市が出席要請する似通った内容の会議を減らしてほしい。 | |
| | 81 | 平日開催以外に夜や土日の開催をして欲しい。 | |
| | 82 | コミ協同士の生の意見を話し合う場を区単位で開催。 | |
| 83 | 手続きの簡素化をする（提出書類、手続きの簡素化）。 | | |
| 84 | 行政と地域の連携に関する指針をつくる。 | | |
| 85 | 行政コミ協の担当の異動の間隔を最低でも5年にする。 | | |

| 課題区分 | No. | 支援策 | 得票数 |
|-----------|-------------------------------------|--|-----|
| 4. 支援について | 86 | 使い勝手のよい運営・活動費を増額する。 | 23 |
| | 87 | 活動補助金の増額。 | 23 |
| | 88 | 行政は最低限必要な事務所、運営・活動費を支援・支給してほしい。 | 23 |
| | 89 | 補助金ではなく、交付金にしてほしい。 | 23 |
| | 90 | コミ協の規模に応じた資金の上乗せ。巾のある自由に使えるお金が必要。 | 23 |
| | 91 | 自主防災活動の助成金を増やす+避難場所を見直す。 | 23 |
| | 92 | 活動助成金は申請型ではなく、規模に合わせた用途自由の分配型で使いやすく公平なくみにする。 | 23 |
| | 93 | コミュニティセンター（或はハウス）的な地域活動拠点を設置する。 | 21 |
| | 94 | 住民自治活動として機能する活動拠点（事務所）を作る。 | 21 |
| | 95 | 活動拠点の整備（住民が集まりやすい場所）。 縦割り行政のカベを取り除く（ex 地域課、教育委員会） | 21 |
| | 96 | 拠点を整備してほしい。 | 21 |
| | 97 | 西区全拠点づくり（空き家を活用した居場所づくり（自治会と家主で契約する））。 | 21 |
| | 98 | 全コミ協が活動拠点をもてるようにする（集まる場、収入確保のため）。 ダメな場合はお金で補助する。 | 21 |
| | 99 | コミ協の基礎をつくるため、運営資金（何に使っても良い）を支援してほしい。 | 16 |
| | 100 | コミ協の活動資金を用意してほしい。 | 16 |
| | 101 | 補助金の増額。 | 16 |
| | 102 | コミ協に対する予算を増額する。 | 16 |
| | 103 | 事務局を強化するために事務所を置き、事務局員を雇えるように人件費を補助する。 | 14 |
| | 104 | 補助金総額の増加と用途の一部自由化。 | 13 |
| | 105 | 専任の事務局員の配置か1人雇用できる人件費の支援。 | 10 |
| | 106 | コミ協人件費の補助金を出す（1コミ協当り200万円）。 | 9 |
| | 107 | 活動拠点としての事務局を確保できるようにするか、場の提供及び借りる資金の支援をする。 | 8 |
| | 108 | 自由に使える資金がほしい。 | 7 |
| | 109 | せめて事務局が食べられるようにする体制を整える支援（非常勤/ふるさと雇用/緊急雇用など）。 | 7 |
| | 110 | 事務局人件費をまかなってほしい（負担が大きい）。 | 7 |
| | 111 | 指定管理の人件費を増やす。 | 6 |
| | 112 | 自由に使える財源にしてほしい。 | 6 |
| | 113 | 補助金用途の自由化。 | 6 |
| | 114 | 補助金の既存事業や項目の見直し→お金の出し方。 | 6 |
| | 115 | 地域に関わる（コミ協運営、地域活動など）人材育成を行ってほしい（指定管理者制度の活用法、運営体制のあり方、コミ協事務局員の指導→行政とのパイプ役、コミ協自治連合会の役割）。 | 5 |
| 116 | コミュニティの基礎づくりを行政も一緒にしてほしい。 | 5 | |
| 117 | コミ協の運営のスキルアップ教育をしてほしい。 | 5 | |
| 118 | 事務局員の人件費補助の創設。 | 5 | |
| 119 | 事務職員の人件費を補助してほしい。 | 5 | |
| 120 | 専従職員の補助（@800円～×4時間×10日=32,000円～/月）。 | 5 | |

| 課題区分 | No. | 支援策 | 得票数 |
|-----------|-----------------------------|---|-----|
| 4. 支援について | 121 | 運営費に人件費を上乗せし、事務局員をおけるようにする。 | 5 |
| | 122 | 補助金総額の増加と使途の自由化（費用対効果の適正な評価）。 | 5 |
| | 123 | 「コミ協活性化研究所」の設立。市が活性化策を研究する。 | 4 |
| | 124 | 活動助成金を倍の「100万円」に。 | 4 |
| | 125 | 活動資金は一括で出す。 | 3 |
| | 126 | コミ協の活動拠点施設を整備してほしい。 | 3 |
| | 127 | 人的な支援を受けたい（専属の行政担当職員）。 | 3 |
| | 128 | 役員手当を別に支給する（会長5万、会計3万）。 | 3 |
| | 129 | 各コミ協に事務所や拠点を整備する。 | 3 |
| | 130 | 会議出席時の費用弁償。 | 3 |
| | 131 | コミ協相談窓口を強化一本化する（補助金等申請窓口をひとつにする。コミ協の事情を加味した上で懇切丁寧に対応する。申請等の一覧表とUSBの書類の書式。）。 | 3 |
| | 132 | コミ協をサポートする専門部署（スペシャリスト）がほしい。 | 3 |
| | 133 | 運営助成金の額を上げ（100～200万）民間専属事務員を置く。 | 3 |
| | 134 | ゴミ手数料にたよらない市独自の使いやすい助成金（100%助成）。 | 2 |
| | 135 | 指定管理のやり方を任せてほしい。 | 2 |
| | 136 | 若手の人材育成（マニュアルの作成、講座の開催）。 | 2 |
| | 137 | 支援職員など、行政の支援体制を強化してほしい。 | 2 |
| | 138 | 運営補助金の増額（500万円→1,000万円）。 | 2 |
| | 139 | 人口に比例した額のヒモ付きでない活動資金の提供。 | 2 |
| | 140 | 事務費として（パート代）月7万はほしい。そうすれば、子育て世代の女性も入ってもらえる。 | 2 |
| | 141 | 役員手当について地域格差の差額を支給してもらいたい。 | 2 |
| | 142 | 各地域にコミ協用の車を配車してもらいたい（そうでなければガソリン代くらいを）。 | 2 |
| | 143 | 役員手当の支給。 | 2 |
| | 144 | 自治会・住民への啓発活動（コミ協の活動についてPRしてほしい）。 | 2 |
| | 145 | 「コミ協とは？」がわかるチラシやパンフレットを作成してほしい。 | 2 |
| | 146 | 資金面での助成：増額する。 | 2 |
| | 147 | コミュニティサポートチームを機能させる（行政の窓口）。 | 2 |
| | 148 | コミ協の自立を助けてくれる（行政サイドからアドバイザーを設置してほしい）。 | 2 |
| | 149 | 活動補助金の枠を広げる。 | 1 |
| | 150 | 各コミ協でコミュニティバスを持つ。 | 1 |
| 151 | 人材育成の講座等の開催（例：コーディネーターの育成）。 | 1 | |
| 152 | 補助金申請も報告も簡略化する。 | 1 | |
| 153 | 人口規模に合わせた助成金支給及び増額と使途の自由化。 | 1 | |
| 154 | 会議等の費用弁償制度を設けてほしい。 | 1 | |
| 155 | 地域で空いている公的施設をコミ協の指定管理にする。 | 1 | |

| 課題区分 | No. | 支援策 | 得票数 |
|-----------|-------------------------------------|--|-----|
| 4. 支援について | 156 | 市民がコミ協を活用できるシステムを構築する。 | 1 |
| | 157 | コミ協活動にかかる交通費の補助。 | 1 |
| | 158 | 区役所にコミ協専門の担当職員を設ける。 | 1 |
| | 159 | ゴミ手数料を半分はコミ協、半分は自治会に還元する。 | 1 |
| | 160 | パソコンの供与。広報（PR）やコミ協間の情報交換のために。 | 1 |
| | 161 | コミ協と関わる行政職員の教育をしっかりしてほしい（NPOに丸投げしないでほしい）。 | 1 |
| | 162 | 資金面での助成：有償ボランティアに変える。 | 1 |
| | 163 | 資金面での助成：コミ協役員も有償にする。 | 1 |
| | 164 | コミ協運営の事務局員の人件費を増額する。 | |
| | 165 | 貸館の支援として部屋の空きがわかるシステムをつくる。 | |
| | 166 | コミ協の構成員である「民生委員」を優しく育てる仕組みを用意する。 | |
| | 167 | コミ協に関する広報の強化。 | |
| | 168 | コミ協の範囲を超えるイベントについては、市に予算づけをしてもらいたい。 | |
| | 169 | 各種手続きの簡略化を図る。 | |
| | 170 | 補助金の申請を簡略化してほしい。 | |
| | 171 | 認知度をあげるための広報活動に予算づけをしてほしい。 | |
| | 172 | 色々な活動の講師等を探すのに困っているのので「人材リスト」を提供していただきたい。 | |
| | 173 | コミ協活動の場（使いたいときに使える施設・駐車場・書類スペース）を確保してほしい。 | |
| | 174 | 各コミ協が自由に使えるバスを用意する（市のバスを使えるようにする）。 | |
| | 175 | 活動補助金は随時受け付ける（予備費を持ってほしい）。 | |
| | 176 | 事業数が多いコミ協には財源を厚くしてほしい。 | |
| | 177 | コミ協役員は必ず研修を受ける（定期的開催）。 | |
| | 178 | コミ協の活動（事業）へのアドバイスやコーディネート（専門家などの人材の紹介）。 | |
| | 179 | 市へ届け出る事務手続の簡素化。 | |
| | 180 | やりがいのある、魅力的な活動を積極的に企画する（どんどんやって、若い人も巻きこむ）。 | |
| | 181 | 人材派遣：コミ協に対して専門的知識のある人を紹介してもらう。 | |
| | 182 | コミ協が人材育成を行うので、セミナーなど勉強する機会をつくる。 | |
| | 183 | ノウハウの共有化（学習会の開催：地域経営や自主財源確保について）。 | |
| | 184 | 財源を得る手段ノウハウの提示・伝達。 | |
| | 185 | 地域の団体の事務局をコミ協が引き受ける。 | |
| 186 | コミ協の活動の情報発信に対しての支援（お金、情報、道具、仲介役など）。 | | |

| 課題区分 | No. | 支援策 | 得票数 |
|--------|-----|---|-----|
| 5. その他 | 187 | 5班の発表したことを実現する。 ・補助金を自由に使えるようにする。 ・「コミ協活性化研究所」の設立。市が活性化を研究する。 | 4 |
| | 188 | 希望したことは実現してほしい。 | |
| | 189 | 話し合いの結果を実行して欲しい。 | |
| | 190 | 要望に対する返答をもっと早くする。 | |
| | 191 | 住民によりそい、信頼関係を築きながら、まちづくりをやっていかねばならぬ！ | |
| | 192 | 政策部局への配置かえ（市民協働課）。 | |